



平成28年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月28日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	5,625	33.1	703	37.5	699	36.5	426	50.7
27年12月期第3四半期	4,226	-	511	36.0	512	35.7	282	77.0

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 455百万円 (45.1%) 27年12月期第3四半期 313百万円 (48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	14.56	-
27年12月期第3四半期	9.66	-

(注) 当第1四半期連結会計期間より、フィールドマーケティング事業の売上高を総額表示から純額表示に変更したため、27年12月期第3四半期の売上高について遡及処理後の数値を記載しております。これに伴い、27年12月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	4,881	3,328	64.9	108.19
27年12月期	4,401	2,867	62.2	93.60

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 3,169百万円 27年12月期 2,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年12月期	-	0.00	-	-	-
28年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,480	26.8	820	20.9	820	20.7	495	32.6	16.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 平成27年12月期の売上高について遡及処理を行っているため、対前期増減率は遡及処理後の数値との比較によるものです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	30,955,000株	27年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	1,654,600株	27年12月期	1,700,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	29,265,447株	27年12月期3Q	29,255,000株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（平成28年12月期第3四半期：104,600株、平成27年12月期第3四半期：150,000株）を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	5,625百万円（前年同期比 33.1%増）
営業利益	703百万円（前年同期比 37.5%増）
経常利益	699百万円（前年同期比 36.5%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	426百万円（前年同期比 50.7%増）

となりました。

当第3四半期連結累計期間では、すべてのセグメントにおいて増収増益となりました。

なお、当社グループは、「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、フィールドマーケティング事業の売上に関する会計処理方法の変更を行っており、遡及処理後の数値で前年同期との比較を行っております。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. eセールスマネージャー関連事業

日本国内のソフトウェア投資については回復に向けた足取りがまだまだ不透明な環境のなか、当社の主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャーRemix」について、当第3四半期は大型案件の獲得等により売上が大きく増加いたしました。また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング、スキルトレーニングなども需要は根強く、期を通じて堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,566百万円（前年同期比17.1%増）、増収効果によりセグメント利益は371百万円（同50.5%増）となりました。

2. フィールドマーケティング事業

消費財メーカーにおける店頭でのフィールド活動業務のアウトソーシング化の流れが継続しているなか、新規の大型案件の獲得によるストック収益の積み上げに加え、店頭構築などスポット業務も堅調に推移いたしました。一方、さらなる成長に向けて、事業拠点の拡大や管理職や管理部門の人材を積極的に採用し、組織運営体制の強化を進めました。

以上の結果、売上高は2,482百万円（同60.1%増）、セグメント利益は307百万円（同24.6%増）となりました。

3. システム開発事業

当第3四半期は引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の獲得、プロジェクト管理の徹底に努めました。

以上の結果、売上高は375百万円（同23.6%増）、セグメント利益は2百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

4. 出版事業

当第3四半期は、売上高は201百万円（同11.6%増）となりましたが、将来の成長に向けて採用活動を積極化させていることから、人件費負担が増加し、セグメント利益は21百万円（同1.3%増）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産	4,881百万円（前連結会計年度末比 10.9%増）
負 債	1,552百万円（前連結会計年度末比 1.2%増）
純資産	3,328百万円（前連結会計年度末比 16.1%増）

となりました。当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ479百万円増加し、4,881百万円となりました。その主たる要因は、繰延税金資産が52百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が345百万円、現金及び預金が95百万円、仕掛品が45百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、1,552百万円となりました。その主たる要因は、長期借入金が42百万円、支払手形及び買掛金が37百万円減少したものの、未払金が35百万円、前受金が34百万円、賞与引当金が34百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ461百万円増加し3,328百万円となりました。その主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が426百万円、非支配株主持分が29百万円増加したことによるものです。自己資本比率は、64.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成28年10月26日に公表いたしました平成28年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おさください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(売上高の会計処理の変更)

当社の連結子会社であるソフトブレン・フィールド株式会社は、従来、顧客に直接請求していた経費について、売上高及び売上原価を総額で計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法に変更しております。

これまで、主として、全国規模で構築した人材ネットワークを活用し、業務委託契約を締結した登録キャスト（個人事業主）が顧客から依頼を受けた業務を訪問単価制（交通費、通信費等を含んだ一訪問一活動当たりの報酬設定）で実施しておりました。しかしながら近年、一括アウトソーシングや派遣を中心とした「ラウンダー人材バンク」サービスの売上構成比が高まり、それに伴い、店頭活動を行う契約社員が急激に増加しております。

当該会計方針の変更は、契約社員型のサービスにおいて、店頭活動に係る経費を顧客に請求することができることが明確になってきたため、取引実態及び契約内容を検証した結果、今後は取引総額ではなく純額で売上計上する方法を採用することが、これらの事業構造、収益構造の変化に対応し、経営成績をより適切に反映すると判断したことによるものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ163,687千円減少しておりますが、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首の純資産への累積的影響額はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,687,665	2,783,384
受取手形及び売掛金	919,849	1,265,757
商品及び製品	54,845	58,438
仕掛品	83,388	128,870
繰延税金資産	89,620	82,891
その他	78,365	91,058
貸倒引当金	△9,818	△10,136
流動資産合計	3,903,916	4,400,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,435	64,229
減価償却累計額	△39,552	△44,650
建物及び構築物 (純額)	12,883	19,578
工具、器具及び備品	234,171	261,305
減価償却累計額	△184,438	△201,905
工具、器具及び備品 (純額)	49,732	59,399
その他	2,916	3,235
有形固定資産合計	65,532	82,213
無形固定資産		
ソフトウェア	306,346	308,397
その他	915	915
無形固定資産合計	307,262	309,312
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	67,326	77,884
長期滞留債権	52,316	43,340
繰延税金資産	51,982	5,855
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△52,316	△43,340
投資その他の資産合計	124,809	89,240
固定資産合計	497,603	480,766
資産合計	4,401,519	4,881,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,838	248,310
未払金	210,863	246,446
未払役員賞与	20,200	-
短期借入金	100,000	101,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	116,757	109,010
前受金	310,169	344,731
賞与引当金	21,711	55,786
役員賞与引当金	-	21,723
返品調整引当金	14,033	9,966
株式給付引当金	9,702	6,195
その他	183,894	192,299
流動負債合計	1,329,169	1,391,469
固定負債		
長期借入金	196,000	154,000
その他	8,591	6,750
固定負債合計	204,591	160,750
負債合計	1,533,760	1,552,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	1,803,667	2,229,710
自己株式	△259,385	△253,574
株主資本合計	2,738,142	3,169,995
非支配株主持分	129,616	158,815
純資産合計	2,867,759	3,328,811
負債純資産合計	4,401,519	4,881,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,226,677	5,625,984
売上原価	2,516,387	3,600,913
売上総利益	1,710,289	2,025,071
返品調整引当金戻入額	-	324
返品調整引当金繰入額	621	-
差引売上総利益	1,709,668	2,025,395
販売費及び一般管理費	1,197,744	1,321,667
営業利益	511,923	703,728
営業外収益		
受取利息	500	314
助成金収入	-	2,365
違約金収入	448	-
保険解約返戻金	741	-
その他	268	96
営業外収益合計	1,958	2,776
営業外費用		
支払利息	1,063	1,313
為替差損	158	5,498
営業外費用合計	1,222	6,811
経常利益	512,659	699,693
税金等調整前四半期純利益	512,659	699,693
法人税、住民税及び事業税	149,066	191,596
法人税等調整額	49,839	52,856
法人税等合計	198,905	244,452
四半期純利益	313,754	455,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,019	29,198
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,735	426,042

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	313,754	455,241
四半期包括利益	313,754	455,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,735	426,042
非支配株主に係る四半期包括利益	31,019	29,198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	eセールスマ ネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,191,316	1,551,173	303,525	180,661	4,226,677	-	4,226,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,945	9,952	37,478	250	61,627	△61,627	-
計	2,205,261	1,561,126	341,004	180,911	4,288,304	△61,627	4,226,677
セグメント利益又はセグメント損失(△)	246,720	246,833	△3,917	21,573	511,210	713	511,923

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額713千円には、固定資産の調整597千円、棚卸資産の調整額115千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	eセールスマ ネージャー 関連事業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上 高	2,566,211	2,482,876	375,293	201,603	5,625,984	-	5,625,984
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	18,422	9,981	36,231	2,055	66,690	△66,690	-
計	2,584,634	2,492,857	411,524	203,658	5,692,675	△66,690	5,625,984
セグメント利益	371,389	307,532	2,945	21,849	703,716	11	703,728

(注) 1. セグメント利益の調整額11千円には、固定資産の調整197千円、棚卸資産の調整額△186千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、フィールドマーケティング事業の売上高について、当第3四半期連結累計期間より、総額表示から純額表示に変更いたしました。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高はフィールドマーケティング事業で163,687千円減少しておりますが、セグメント利益への影響はありません。